

もくじ

- ・ おうさま
王様をほしがるカエル

おうさま
王様をほしがる
カエル

げんさく
原作： ぐうわ
イソップ寓話

イラスト： Kitamaki

へんしゅう
編集： YellowBirdProject

3

ここは、とある^{もり なか}森の中にある、^{おお いけ}大きな池です。
ここではたくさんのカエルたちが、^{じゆう}みな自由に、
^{たの}楽しく暮らしていました。

ある^ひ日のこと。三匹^{さんびき}のカエルが、^{いけ}池のほとりで
^{はな}話しをしていました。

「なあ、^し知っているか？^{にんげん}人間の^{せかい}世界には『^{おうさま}王様』って
いうのがいて、^{ひと}その人が^きいろんなことを決めている
らしいぜ」

「それはいいな。みんなその^{おうさま}王様^きってやつに決めて
もらえば、^{じぶん}自分で^{かんが}なにも考えなくていいんだぜ」

「おれたちの^{なか}中で、^{おうさま}王様をつくらうぜ」

「いいけど、だれを^{おうさま}王様に^{えら}選ぶのさ。おれはやりたく
ないぜ」

「う～ん、どうしよう・・・」



5

^{かんが} ^{すえ} ^{かみさま} ^{もと} ^{ねが}
考えた末にカエルたちは、神様の元にお願いを
しにいくことにしました。

^{かみさま} ^{おうさま} ^{さず}
「神様、おれたちに王様を授けてください」

^{おうさま} ^{さず}
「王様を授ける・・・？いったいどういうことだ」

^{めいれい} ^{おうさま} ^ほ
「ぼくたち、命令をくれる王様が欲しいんですよ。
なにをするにも自分で考えなくちゃいけないなん
て、面倒でしょ？」

^{かみさま}
「なんとかありませんか、神様？」

^{かみさま} ^{はな} ^き
神様はそのカエルたちの話しを聞いて、すっかり
あきれてしまいました。

(まったく、なんておろかなやつらだ。どれ、少し
こらしめてやるか)

